

窒息



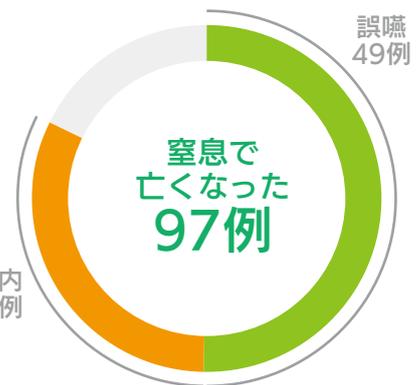
1. 疫学

令和元年人口動態統計によると、15歳未満の「不慮の事故」における死因のうち、「その他の不慮の窒息」は最多であり、特に1歳未満の不慮の事故死の78%を占めている。窒息で亡くなった97例のうち、食物や吐物、その他の物体の誤嚥による気道閉塞が49例、ベッド内での不慮の窒息や縊首による窒息が31例であった¹⁾。



2. 病態

3歳児の最大開口口径は39mmであり、これより小さく口の中に入るものは食物でも非食物でも誤嚥・窒息の原因になる可能性がある²⁾。誤嚥以外にも寝具による窒息もあり多種多様な事例が報告されている。縊頸による窒息は、頸部に対して体重や物体の圧力がかかることで、頸部の全周を覆っていなくても発生する。いずれの機序も発生から数十秒で意識を消失し数分で不可逆的な脳損傷が発生する³⁾。



3. 応急処置

誤嚥による窒息 (1歳未満)背部叩打法 (1歳以上)ハイムリック法⁴⁾
縊頸による窒息 気管挿管、頸椎カラー、外科的気道確保の検討



4. 予防・啓発

- 乳幼児が誤嚥しうる口腔内に入る物体のサイズを伝える。
 - 早食い競争は危険な可能性があることを伝える。
 - 寝具の固さや重さ、ベビーベッドの使用、周囲に置かないほうが良いものを指導する。
 - 子どもの首に引っかかる可能性のあるものの使用を制限する。
 - 『食品による窒息 子どもを守るためにできること』⁵⁾を紹介する。
- (日本小児科学会 こどもの生活環境改善委員会 作成)



参考文献 1)厚生労働省 . https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=3&query=人口動態統計%20&layout=dataset&year=20190&stat_infid=000031982770&metadata=1&data=1 (2021.9.8)
2)飯沼ら . 小児歯科学誌 39; 766, 2001.
3)政府広報オンライン . <https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201809/2.html> (2021.9.12)
4)日本小児呼吸器学会 . http://jspp1969.umin.jp/ind_img/cc03.pdf (2021.9.13).
5)食品による窒息子どもを守るためにできること . 日本小児科学会 こどもの生活環境改善委員会 http://www.jpeds.or.jp/modules/guidelines/index.php?content_id=123 (2021.9.8)